活動計画概要

相談支援部会

平成24年4月20日

資料14-1

全体目標

がんにより死亡する人の減少
がんの年齢調整死亡率（75歳未満、人口10万人当たり）を平成29年度までに20%減少させる。

すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上

部会が担当する分野の課題と目標

【目標】 **・がん患者さんやその家族ががん相談を希望すれば、いつでもどこでも質の高いがん情報の提供や相談が受けられ、よりよい治療法及び療養場所を選択することができる**

中期目標：2013年までに県民の50%が相談窓口を知っていて、その8割ががんの悩みを解決でき、相談窓口での対応に満足している。
指　　標：①相談窓口認知度、②患者満足度
測定方法：患者満足度調査、拠点・支援病院がん相談件数の合算、分析

最終目標：2018年までに県民の80%が相談窓口を知っていてその8割ががんの悩みを解決でき、質の揃ったがん相談員が拠点病院、支援病院に配置されている。
指　　標：①相談窓口認知度、②患者満足度
測定方法：患者満足度調査、拠点・支援病院がん相談件数の合算、分析

施策毎のアウトカム目標

【アウトカム目標1】
2013年3月までに県民全体の50%が、相談できる場を知っていて、2018年3月には県民の80%が相談窓口を知っている

【アウトカム目標2】
2018年3月までにセカンドオピニオンを希望している患者の80%が受診できている。

【アウトカム目標3】
相談員間で質の揃った対応が可能となり、その地域に不足している資源や課題が明らかになる

【アウトカム目標5】
①2018年3月までに拠点病院・支援病院に常勤で且、専従の相談員が1人以上配置されている
②2018年3月までに各支援病院の常勤相談員が最低1人配置されている

施策毎のアウトプット目標

【アウトプット目標1】
2012年9月までに100人を対象とした調査を実施する
2013年3月までに分析結果を公表する

【アウトプット目標2】
2013年8月までに各自治体/がん治療を行なう医療機関、がんに関連する施設等を通じて、2万部配布する

【アウトプット目標3】
2013年9月までに患者必携第2版と共にパンフレットを配布する

【アウトプット目標4】
2012年8月までにがん専門施設と、標準治療施設へ配布する

【アウトプット目標4】
2013年3月に沖縄県のホームページにて公開される
2013年4月に協議会HPへ掲載する

【アウトプット目標6】
2013年3月まで拠点・支援病院のセカンドオピニオン紹介率が50%増加するセカンドオピニオン紹介率調査を分析し、公表する

【アウトプット目標7】
①2012年9月までに拠点・支援病院共通のがん相談記入統計様式を導入する
②毎年、相談内容の分析を行ない、部会計画の改定を行なう

【アウトプット目標8】
2013年4回の研修会を実施し、100人が受講する（2013年3月までに各拠点病院主催で3回実施する）

【アウトプット目標9】
2013年3月までに沖縄県版のマニュアル作成し、2014年3月までにがん相談員を対象としたがん相談マニュアルについての研修会を2回開催する

【アウトプット目標10】
2012年8月までに沖縄県へ配置についての要望書を作成提出する

施策アクションプラン

【施策1】
患者家族満足度調査実施し、分析結果を発表し、対策に活用する

【施策2】
患者必携「地域の療養情報」第2版を配布し、普及啓発活動を図る

【施策3】
患者必携「地域の療養情」第3版を作成する

【施策4】
2012年5月までに「患者さんのチェックリスト」について医療者向けパンフレットを作成する

【施策5】
相談支援センター案内用のチラシを等へ配布する

【施策6】
がんに関する医療機能調査の結果を公開するよう沖縄県へ要望する

【施策7】
2012年3月までにがん診療を行っている病院の医師対象の「S.O.アンケート」の調査後の分析を行う

【施策8】
相談内容の分析を行う

【施策9】
がん相談員を対象とした研修会の企画、運営を行う

【施策10】沖縄県がん相談支援センター相談マニュアルを作成する

【施策11】
各支援病院の常勤相談員の配置、または増員

ワークシート1で導き出された対策項目

【対策項目 1】
相談窓口の機能、役割についての情報を患者、市民に知らせる

【対策項目 2】
相談の質の向上

【対策項目 3】
運営資源の充実化